



ゲームエンジンによる 橋梁の3次元損傷記録

橋梁損傷情報をスマホでカンタン管理! ゲーム感覚でできる!



EJECはインフラのメンテナンスをサポートします

橋梁点検では、ドローンの活用により作業の効率化、安全性の向上は進んでいますが、その記録は従来の紙のまま、というのが現状です。

EJECでは、**ゲームエンジンを活用**してドローン撮影画像から橋梁3次元モデルを作成し、その**モデル上へ点検結果を記録し、損傷・劣化の状況を視覚的にわかりやすく把握**する取り組みを進めています。

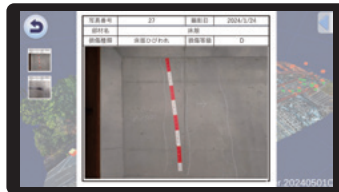
スマホひとつで、現場で簡単かつリアルタイムに、各種情報の確認ができます。

診断・措置の充実 損傷位置に点検データを添付、タップで表示

点検時期の異なる複数の損傷情報(部材名、損傷種類、診断結果など)を、時系列で記録・蓄積し、同一ポイントにひも付けできます。ポイントをタップすれば情報が表示され、損傷・劣化の進行状況の把握が可能です。

損傷情報と部材情報、損傷の健全性などでポイントの色を区別したり、レイヤー分けができるので、見たい・知りたい情報が簡単に表示可能です。

床版ひび割れ

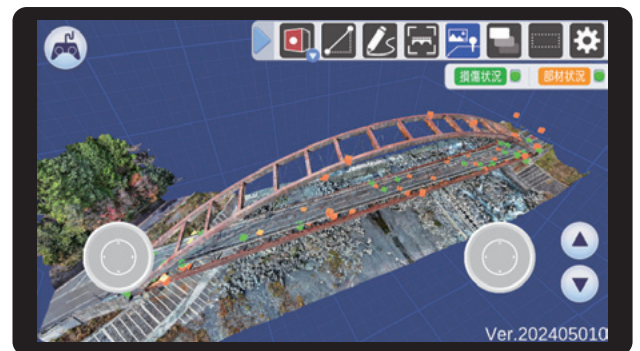


損傷情報は
時系列で記録
防食塗装の劣化



部材の現況

ツールバーはカスタマイズ可能



コントローラにてゲーム感覚で操作可能

劣化予兆の検知 部材や損傷の寸法をタップで計測

精度の高い点群データをもつ3次元モデルとスマホの操作性を生かし、タップで損傷・部材寸法を簡単に計測できます。定量的な情報から、劣化の進行や予兆を検知することが可能です。

ニールセン吊り部材の計測



ひび割れ長さの計測



01116-002

